

第32期第12回常任理事会議事録

日 時：2003年7月22日（火）13時30分～15時30分

会 場：日本気象学会事務室（8階）

出席者：廣田，古川，勝山，木田，近藤，田中，
新野，藤部，萬納寺，以上9人

その他の出席者：館，島村（事務局）

議 題：

1. 第32期第11回常任理事会議事録の確認

2. 各委員会等の報告

庶務…後援名義等使用依頼受付

名称：ビジュアル・サイエンス・フェスタ2003

1) 主催：(株)日経サイエンス, VSF 実行委員会

2) 期日：平成15年10月4日（土）

3) 場所：日経ホール（千代田区大手町1-9-5）

4) 名義：後援

名称：第29回リモートセンシングシンポジウム

1) 主催：(社)計測自動制御学会

2) 期日：平成15年11月10日(月), 11日(火)

3) 場所：筑波研究交流センター・国際会議場

4) 名義：協賛

名称：第18回「大学と科学」公開シンポジウム
オゾンのゆくえー気候変動とのかかわりをさぐる

1) 主催：「大学と科学」公開シンポジウム

2) 期日：平成15年12月1日(月), 2日(火)

3) 場所：東京・一ツ橋記念講堂

4) 名義：後援

・2003年度春季大会開催経費等の決算について
大会委員長から決算が報告された。

・平成16年度科学技術功労者等表彰受賞候補者推薦について

文科省から受賞候補者の推薦依頼があった。
各賞委員会が候補者を出すかどうかを判断する。

・「公益法人制度の抜本的改革に関する基本方針」について

6月27日閣議決定された「公益法人制度の抜本的改革に関する基本方針」が通知された。

・第19期日本学術会議の会員として推薦すべき者について

地球物理学からは石田瑞穂氏，西田篤弘氏が第19期日本学術会議の会員として推薦される。

・法人（気象学会）の現地検査について

2003年6月30日14～18時，気象学会事務局で実施された。検査官は文部科学省研究振興局学術研究助成課（学術団体専門官 後藤，研究成果公開促進係 日俣），立会人は勝山理事，館事務局長，鈴木，島村。検査の結果，改善が望ましいとされる「口頭通知」による指導を受けたが，早急に改善を求める「文書通知」はない。

・日本学術会議の水資源学専門委員会の次期委員として，前期に引き続き，京大防災研植田洋匡教授を推薦

・IUGG2003総会に対しての寄付状況（最終報告）

1) 会員：68名，1,277,000円（直接の1名，100,000円含）

2) 賛助会員：沖繩電力（2口），トーテックス（株）（3口），（株）カイジョー（5口），横河電子機器（株）（3口），（株）I・H・I・エアロスペース（直接）（10口），合計230,000円。

会計…2003年6月分の収支報告

・2003年度の予算の書類において，2002年度からの繰越金が算入されていなかった。この予算は5月の総会で承認されているが，この間違いは本質的なものではないため，修正部分を天気誌上で報告するのみとする。

天気…Vol. 50 No. 7（2003年7月号）の掲載記事とVol. 50 No. 8（2003年8月号）掲載予定記事の報告。

・IUGGはIAMAS関係のセッション，シンポジウムを中心として，アウトリーチも含めて報告の原稿を取りまとめる。

気象集誌…編集に関わる仕事の内容などを追加した会計報告を提出。

・国立情報学研究所では日本の学協会による英

文電子ジャーナルの出版活動に対し多面的な支援を行う SPARC/JAPAN (Scholarly Publishing and Academic Resources/JAPAN)の公募を開始した。この企画は主に電子ジャーナルを有料で管理運営する際に生ずる煩雑な業務に対する技術支援を行うものである。したがって無料公開している気象集誌はこの対象にならない。しかし、現在検討中のレター誌にとっては極めて重要な支援機関と考えられるため、応募する方向で検討する。

- 電子ジャーナル版気象集誌 (J-STAGE) のアクセス数は、開始時は一月800件だったが最近月は月に1200件に達する。会員と非会員の区別はつかない。
- 気象集誌と JGR の二重投稿した著者に対し、厳重注意を行った。
なお同じ内容の論文をほかに投稿していないという誓約書を書かせることを、投稿規程に明記することとする。
- 6月号の印刷が悪く、諧調が出なかった。これはゲラの段階では問題はなかった。著者から苦情もあった。印刷の悪い図を正誤表として掲載するとページ数が増えること、印刷会社の落ち度であることから、無料あるいはインク代程度の負担で刷りなおす方向で動いている。印刷に堪えない原図の投稿が多いので、投稿するには著者に注意を促したほうが良いという意見があった。

電子情報…2003年6月1～30日の気象学会ホームページのアクセス状況 (68,640件)。

- 6月のメイリングリスト配信記録 (2件)

国際学術交流…来年7月のシンガポールで開催される第1回アジア・オセアニア地球物理学会 (AOGS) 大会へ、日本気象学会会員からのセッション申し込みは、津田敏隆会員、小池俊雄会員、中澤哲夫会員からの3件。

その他…IUGG2003札幌総会

IUGG2003は盛会裏に終了した。短い記事を天気7月号に掲載する。次回 IUGG 総会は2007年にイタリアのペルージャで、次回 IAMAS 集会は2005年8月前半に北京で、次回 IAGA (地球電磁気学・高層物理学国際協会) 集会は IAMAS を構成する委員会の一つ

である中層大気国際委員会 ICMA と合同で2005年8月下旬にトゥールーズで開催される。最終日の IUGG 総会で Resolution が発表された。IAMAS 関連では国立極地研究所の佐藤 薫会員が中心となって計画している南極レーダーの重要性を認識しこの計画を推進すべきことが建議された。IAMAS ではバイオマス燃焼と雨量の増減も提案されたが、北京で提案しなおすこととなった。住会員は IAMAS の役員を継続する。

• 学術会議

19期の会員が決まった。新しい会員制度は19期で決め、21期で改革完了の計画。気象研連は気象専門委員会となり、研連からの委員の推薦の依頼がある見こみ。

3. 会員の新規加入等について

新入会員20名を承認、退会6名。7月18日現在、会員数4,431名 (内、通常会員3,958名)。

4. 山本・正野論文賞、堀内賞、奨励賞候補者の投票結果 (報告)

理事全員の投票により、次のように決定した。

山本・正野論文賞

- 榎本 剛 (地球フロンティア研究システム)
対象論文: The formation mechanism of the Bonin high in August. *Quart. J. Roy. Met. Soc.*, 129, 157-178 (Jan., 2003) (by Takeshi Enomoto, Brian J. Hoskins and Yoshihisa Matsuda)

- 寺尾有希夫 (独立行政法人国立環境研究所)
対象論文: Stratospheric ozone loss in the 1996/1997 Arctic winter: Evaluation based on multiple trajectory analysis for double-sounded air parcels by ILAS. *J. Geophys. Res.*, 107 (D24) (December) doi: 10.1029/2001JD000615 (by Yukio Terao, Yasuhiro Sasano, Hideaki Nakajima, H. L. Tanaka and Tetsuzo Yasunari)

堀内賞

- 井上 元 (独立行政法人国立環境研究所)
研究業績: 温室効果気体のモニタリング研究の推進
- 松田佳久 (東京学芸大学)
研究業績: 惑星大気循環論の体系化と金星気

象学研究の推進

奨励賞

- ・高田伸一（新潟地方気象台）
研究題目：解析降雪量に基づく降雪量の推定と予測精度向上のための研究
- ・中山 寛（札幌管区気象台）
研究題目：冬季北海道西岸に現れる収束線とそれに伴う降雪の研究
- ・渡邊真二（長野地方気象台）
研究題目：レーダーデータ等を用いたメソ降

水系の研究

5. 第19期日本学術会議海洋科学研究連絡委員会委員候補者の推薦依頼
海洋科学研究連絡委員会から委員候補者の推薦依頼があった。現在委員を務めている花輪会員は3期務めたので規則により交代し、新たに新野会員を推薦する。
6. 学会運営に関する諸問題について
評議員会の提案に対する回答も含め、次回常任理事会から議論したい。

日本気象学会および関連学会行事予定

行事名	開催年月日	主催団体等	場所	備考
可視化情報学会全国講演会(宇都宮2003)	2003年10月31日 ～11月1日	可視化情報学会 (協賛) 日本気象学会	宇都宮大学工学部 (栃木県宇都宮市陽東7-1-2)	
21世紀の地学教育を考える大阪フォーラム 第4回こどものためのジオ・カーニバル	2003年11月2, 3日	21世紀の地学教育を考える大阪フォーラム こどものためのジオ・カーニバル企画委員会 (後援) 日本気象学会	大阪市立科学館 (大阪市北区中之島4-2-1)	
月例会「長期予報と大気大循環」	2003年11月4日	日本気象学会	気象庁大会議室 (東京都千代田区大手町1-3-4)	「天気」50巻第5号
日本気象学会関西支部2003年度第1回例会	2003年11月8日	日本気象学会	広島地方気象台(広島市中区上八丁堀6-30)	「天気」50巻第9号 http:// webclub.kcom.ne.jp/ma/msj-knsi/
第29回リモートセンシングシンポジウム	2003年11月10, 11日	(社) 計測自動制御学会 (協賛) 日本気象学会	筑波研究交流センター(茨城県つくば市竹園2-20-5)	
東アジア域の季節予報に関する国際会議	2003年11月11, 12日	気象庁	気象庁大会議室 (東京都千代田区大手町1-3-4)	「天気」50巻第8号
国際シンポジウム“First Argo Science Workshop”	2003年11月12 ～14日	海洋科学技術センター, 米国海洋大気庁(NOAA)	ヤクルトホール (東京都港区東新橋1-1-19)	http:// www.argo.ucsd.edu
平成15年度気象研究所研究活動報告会	2003年11月14日	気象研究所	気象庁講堂(東京都千代田区大手町1-3-4)	「天気」50巻第9号 http:// www.mri-jma.go.jp/
第26回極域気水圏シンポジウム	2003年11月19, 20日	国立極地研究所	国立極地研究所 (東京都板橋区加賀1-9-10)	http:// www.nipr.ac.jp/japan/index.html
日本気象学会関西支部2003年度第2回例会	2003年11月21日	日本気象学会	香川大学教育学部研究交流棟会議室(香川県高松市幸町1-1)	「天気」50巻第9号 http:// webclub.kcom.ne.jp/ma/msj-knsi/

第5回非静力学モデルに関するワークショップ	2003年11月25, 26日	非静力学数値モデル研究連絡会	地球フロンティア研究システム, 三好記念講堂(神奈川県横浜市金沢区昭和町3173-25)	「天気」50巻第5号 http://www.sit.ac.jp/~satoh/NHM2003/
第18回「大学と科学」公開シンポジウム オゾンのおくえー気候変動とのかかわりをさぐる	2003年12月1, 2日	「大学と科学」公開シンポジウム (後援) 日本気象学会	学術総合センター一ツ橋記念講堂 (東京都千代田区一ツ橋2-1-2)	
第2回「戦略的基盤ソフトウェアの開発」シンポジウム	2003年12月3, 4日	東京大学生産技術研究所 (協賛) 日本気象学会	経団連ホール (東京都千代田区大手町1-9-4)	
第50回風に関するシンポジウム	2003年12月12日	(共催) 日本気象学会, 土木学会, 大気環境学会, 日本海洋学会, 日本風工学会, 日本建築学会他	東北大学工学部青葉記念会館 (宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉)	「天気」50巻第8号 http://vjogi.pln.archi.tohoku.ac.jp/labs-pages/kan-kyo/symposium/winds50.html
第17回数値流体シンポジウム	2003年12月17 ~19日	日本流体力学会 (後援) 日本気象学会	国立オリンピック記念青少年センター (東京都渋谷区代々木神園町3-1)	
第14回大気化学シンポジウム	2004年1月7 ~9日	名古屋大学太陽地球環境研究所 (協賛) 日本気象学会	豊川市民プラザ (愛知県豊川市諏訪3-302)	「天気」50巻第9号 http://www.stelab.nagoya-u.ac.jp/ste-www1/div1/tai-kiken/
第53回理論応用力学講演会	2004年1月27 ~29日	日本学術会議「メカニクス・構造研究連絡委員会」 (共催) 日本気象学会	日本学術会議 (東京都港区六本木7-22-34)	
第1回「天気予報研究会」	2004年2月20日	天気予報研究連絡会	気象庁第1会議室 (東京都千代田区大手町1-3-4)	「天気」50巻第7号
日本気象学会関西支部2003年度第3回例会	2004年2月24日	日本気象学会	神戸大学海事科学部総合学術交流棟(兵庫県神戸市東灘区深江南町5-1-1)	「天気」50巻第9号 http://webclub.kcom.ne.jp/ma/msj-knsi/
日本気象学会2004年度春季大会	2004年5月16 ~19日	日本気象学会	気象庁(東京都千代田区大手町1-3-4), 学術総合センター(一ツ橋2-1-2), 学士会館(神田錦町3-28)	http://www.soc.nii.ac.jp/msj/others/meeting.html
アジア・オセアニア地球科学学会(AOGS)第1回年会	2004年7月5 ~9日	AOGS 組織委員会 (共催) 日本気象学会	シンガポール	http://www.asiaoceania.org/
日本農業気象学会国際シンポジウム	2004年9月7 ~11日	日本農業気象学会 (協賛) 日本気象学会	福岡国際会議場 (福岡県福岡市博多区石城町)	

訂正

「天気」50巻第8号に以下の誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

588ページ「3. Koji MATSUBARA」→「3. Kouji MATSUBARA」